

(様式第9)

自治医病経第124号  
平成19年10月4日

厚生労働大臣 殿

開設者名 学校法人 自治医科大学  
理事長 吉田 弘正

自治医科大学附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第12条の3の規定に基づき、平成18年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 別紙様式第10のとおり
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 別紙様式第11のとおり
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	112人
--------	------

(注) 前年度の研修医の実績を記入すること

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法 別紙様式第12のとおり
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績 別紙様式第13のとおり
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績 別紙様式第13のとおり
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	612人	59.7人	671.7人	看護業務補助	15人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	21人	2.1人	23.1人	理学療法士	11人	臨床検査技師	109人
薬剤師	51人	0人	47.0人	作業療法士	6人	衛生検査技師	0人
保健師	1人	0人	1.0人	視能訓練士	7人	検査その他	3人
助産師	50人	0人	43.0人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	965人	29.1人	994.1人	臨床工学技士	15人	医療社会事業従事者	6人
准看護師	0人	0人	0人	栄養士	0人	その他の技術員	10.6人
歯科衛生士	7人	2.8人	9.8人	歯科技工士	1人	事務職員	80人
管理栄養士	10人	0人	10.0人	診療放射線技師	59.9人	その他の職員	8.8人

(注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。

2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。

3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

- 8 入院患者、外来患者及び調剤の数  
歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	902人	12人	914人
1日当たり平均外来患者数	2,617人	129人	2,746人
1日当たり平均調剤数	2,462剤		

(注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。

2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。

3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。

4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

(様式第10)

## 高度の医療提供の実績

## 1 高度先進医療の承認の有無及び取扱い患者数

高度先進医療の種類(医科)	承認	取扱い患者数
・顔面骨又は頭蓋骨の観血的移動術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・培養細胞による先天性代謝異常診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・溶血性貧血症の病因解析及び遺伝子解析診断法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・人工活約筋を用いた尿失禁の治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
・人工中耳	有・ <input type="radio"/> 無	人
・実物大臓器立体モデルによる手術計画	<input checked="" type="radio"/> 有・無	4 人
・性腺機能不全の早期診断法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・経皮的レーザー椎間板切除術(内視鏡下を含む)	有・ <input type="radio"/> 無	人
・造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定	有・ <input type="radio"/> 無	人
・スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・血小板膜糖蛋白異常症の病型及び病因診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・進行性筋ジストロフィーのDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・焦点式高エネルギー超音波療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・オープンMRを用いた腰椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによる経皮的椎間板減圧術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・肺腫瘍のCTガイド下気管支鏡検査	有・ <input type="radio"/> 無	人
・先天性血液凝固異常症の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・筋緊張性ジストロフィーのDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・SDI法による抗がん剤感受性試験	有・ <input type="radio"/> 無	人
・内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術	<input checked="" type="radio"/> 有・無	3 人
・栄養障害型表皮水泡症のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・家族性アミロイドーシスのDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・三次元形状解析による顔面の形態的診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・マス・スペクトロメトリーによる家族性アミロイドーシスの診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・抗がん剤感受性試験	有・ <input type="radio"/> 無	人
・子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・不整脈疾患における遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・腹腔鏡下肝切除術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・画像支援ナビゲーション手術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・悪性腫瘍に対する粒子線治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
・エキシマレーザーによる治療的角膜切除術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・成長障害のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・生体部分肺移植術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・門脈圧亢進症に対する経頸静脈的肝内門脈大循環短絡術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・声帯内自家側頭筋膜移植術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・骨髄細胞移植による血管新生療法	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0 人
・ミトコンドリア病のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と移転の検索	有・ <input type="radio"/> 無	人
・鏡視下肩峰下腔除圧術	有・ <input type="radio"/> 無	人

高度先進医療の種類（医科）	承認	取扱い患者数
・神経変性疾患のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・脊髄性筋萎縮症のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・難治性眼疾患に対する羊膜移植術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・固形がんに対する重粒子線治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
・脊髄腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・カフェイン併用化学療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・31燐-磁気共鳴スPECT-とケルシン画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・特発性男性不妊症又は性腺機能不全症の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・胎児尿路・羊水腔シャント術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・遺伝性コプロポルフィン症のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・固形腫瘍(神経芽腫)のRNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・硬膜外腔内視鏡による難治性腰痛の治療	<input checked="" type="radio"/> 有・無	11人
・重症BCG副反応症例における遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・自家液体窒素処理骨による骨軟部腫瘍切除後骨欠損の再建	有・ <input type="radio"/> 無	人
・腓腫瘍に対する腹腔鏡補助下腓切除術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・悪性脳腫瘍に対する抗がん剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・ <input type="radio"/> 無	人
・高発がん性遺伝性皮膚疾患のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
・Q熱診断における血清抗体価測定および病原体遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・エキシマレーザー冠動脈形成術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・活性化Tリンパ球移入療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・抗がん感受性試験(CD-DST法)	有・ <input type="radio"/> 無	人
・胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・中枢神経白質形成異常症の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・三次元再構築画像による股関節疾患の診断と治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
・樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・内視鏡下甲状腺がん手術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植	有・ <input type="radio"/> 無	人
・下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによる経皮的椎間板減圧術(CT透視下法)	有・ <input type="radio"/> 無	人
・胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・活性化血小板の検出	有・ <input type="radio"/> 無	人
・早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有・ <input type="radio"/> 無	人
・ケラチン病の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・末梢血幹細胞(CD34陽性細胞に限る。)による血管再生治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
・末梢血単核球移植による血管再生治療	有・ <input type="radio"/> 無	人

高度先進医療の種類（医科）	承認	取扱い患者数
・副甲状腺内活性型ビタミンD（アナログ）直接注入療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・グルタミン受容体自己抗体による自己免疫性神経疾患の診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・腹腔鏡下広汎子宮全摘出術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・自己腫瘍（組織）を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・自己腫瘍（組織）及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人

高度先進医療の種類（歯科）	承認	取扱い患者数
・インプラント義歯	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・顎顔面補綴	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・顎関節症の補綴学的治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・歯周組織再生誘導法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・接着ブリッジによる欠損補綴並びに動揺歯固定	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・光学印象採得による陶材歯冠修復法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・エックス線透視下非観血的唾石摘出術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・レーザー応用による卵齶蝕除去・スケーリングの無痛療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・顎関節鏡視下レーザー手術併用による円板縫合固定術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・顎関節脱臼内視鏡下手術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・耳鼻いんこう領域の機能障害を伴った顎関節症に対する中耳伝音系を指標とした顎位決定法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	承認	取扱い患者数
・高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・自動吻合器を用いた直腸粘膜脱又は内痔核手術（PPH）	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・画像支援ナビゲーションによる膝靭帯再建手術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・凍結保存同種組織を用いた外科治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・強度変調放射線治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・胎児心超音波検査	<input checked="" type="radio"/> 有・無	7人
・内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・画像支援ナビゲーションによる内視鏡下鼻内副鼻腔手術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・インプラント義歯	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・顎顔面補綴	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・人工中耳	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・歯周組織再生誘導法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・抗がん剤感受性試験	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・腹腔鏡下肝切除術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・生体部分肺移植術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・活性化血小板の検出	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・末梢血幹細胞による血管再生療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	承認	取扱い患者数
・カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・先天性銅代謝異常症の遺伝子診断	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・超音波骨折治療法	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・眼底三次元画像解析	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテーラーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・非生体ドナーから採取された同種骨・靭帯組織の凍結保存	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・X線CT診断装置及び手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無	人

(注) 1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 高度先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

3 先進医療で上の表に掲げられているものは、今年度の業務に関する報告の対象ではないが来年度以降の参考のため記入すること。

## 2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱い患者数	疾患名	取扱い患者数
・ペーチェット病	91人	・モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)	25人
・多発性硬化症	61人	・ウエグナー肉芽腫症	4人
・重症筋無力症	115人	・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	30人
・全身性エリテマトーデス	373人	・多系統萎縮症	38人
・スモン	1人	・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	1人
・再生不良性貧血	67人	・膿疱性乾癬	6人
・サルコイドーシス	159人	・広範脊柱管狭窄症	21人
・筋萎縮性側索硬化症	46人	・原発性胆汁性肝硬変	26人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	190人	・重症急性膵炎	10人
・特発性血小板減少性紫斑病	149人	・特発性大腿骨頭壊死症	41人
・結節性動脈周囲炎	28人	・混合性結合組織病	58人
・潰瘍性大腸炎	180人	・原発性免疫不全症候群	3人
・大動脈炎症候群	44人	・特発性間質性肺炎	15人
・ビュルガー病	30人	・網膜色素変性症	25人
・天疱瘡	30人	・プリオン病	1人
・脊髄小脳変性症	88人	・原発性肺高血圧症	5人
・クローン病	88人	・神経線維腫症	11人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	4人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・悪性関節リウマチ	5人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	1人
・パーキンソン病関連疾患	233人	・特発性慢性肺血栓塞栓症(肺高血圧型)	3人
・アミロイドーシス	5人	・ライゾーム病(ファブリー「Fabry」病)含む	2人
・後縦靭帯骨化症	66人	・副腎白質ジストロフィー	1人
・ハンチントン病	5人		

(注) 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

## 3 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ② 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。	
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	月平均4回	
剖 検 の 状 況	剖検症例数 65 例	剖検率 10.4 %

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助金等の実績 [平成18年4月～平成19年3月まで]

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績 [平成18年4月～平成19年3月まで]

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託先
好中球アポトーシスに及ぼすマクロライド抗菌薬の影響—気道上皮細胞からの好中球survival enhancing factor産生抑制効果の <i>in vivo</i> モデルにおける妥当性	山沢英明	内科学講座 呼吸器内科学部門	600,000	補委 文部科学省
びまん性肺疾患に関する調査研究	杉山幸比古	内学講座 呼吸器内科学部門	800,000	補委 厚生労働省
慢性閉塞性肺疾患に対する漢方治療有用性の評価	杉山幸比古	内学講座 呼吸器内科学部門	800,000	補委 厚生労働省
特発性肺線維症の予後改善を目指したサイクロsporin A療法ならびにN7セチルステイン吸入療法に関する臨床研究	杉山幸比古	内学講座 呼吸器内科学部門	1,000,000	補委 厚生労働省
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委

計4

(注) 1 国、地方公共団体または公益法人からの補助金の交付または委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。  
2 「研究者氏名」欄は、一つの研究について研究者が複数いる場合は、主たる研究者の氏名を記入すること。  
3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績 [平成18年4月～平成19年3月まで]

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託先
自己免疫疾患に関する調査研究	簗田清次	アレルギー膠原病学部門	1,300,000円	補 厚生労働科学研究費補助 委 金
骨髄幹細胞移植による難治性血管炎 への血管再生医療に関する多施設共 同研究	簗田清次	アレルギー膠原病学部門	2,600,000円	補 厚生労働科学研究費補助 委 金
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委

計2

- (注) 1 国、地方公共団体または公益法人からの補助金の交付または委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。  
2 「研究者氏名」欄は、一つの研究について研究者が複数いる場合は、主たる研究者の氏名を記入すること。  
3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績 [平成18年4月～平成19年3月まで]

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託先
腫瘍微小循環観察法の確立と腫瘍微小循環を介した癌治療法の開発	蘇原泰則	呼吸器外科	100万円	補委 文部科学省
白血球一内皮相互反応の麻酔による外科治療低侵襲化	佐藤幸夫	呼吸器外科	120万円	補委 文部科学省
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委

計2

(注) 1 国、地方公共団体または公益法人からの補助金の交付または委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。  
2 「研究者氏名」欄は、一つの研究について研究者が複数いる場合は、主たる研究者の氏名を記入すること。  
3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績 [平成18年4月～平成19年3月まで]

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託先
人工心膜シートなどの被覆による左室容量負荷疾患における左室の拡張防止効果	三澤吉雄	心臓血管外科	50万円	補 委 文部科学省
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委

計1

(注) 1 国、地方公共団体または公益法人からの補助金の交付または委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。  
 2 「研究者氏名」欄は、一つの研究について研究者が複数いる場合は、主たる研究者の氏名を記入すること。  
 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績 [平成18年4月～平成19年3月まで]

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託先
腸上皮化生の発生とその制御に関する研究	菅野 健太郎	消化器内科学	8100000	補 文部科学省 委
ヒト小腸の細菌叢と病態における変化	菅野 健太郎	消化器内科学	1700000	補 文部科学省 委
小腸粘膜上皮細胞の分化誘導における転写因子Math1とCdx2の関係	武藤 弘行	消化器内科学	1500000	補 文部科学省 委
原発性胆汁性肝硬変における自己反応性T細胞を制御する新たな治療法の開発	喜多 宏人	消化器内科学	1600000	補 文部科学省 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委

計4

- (注) 1 国、地方公共団体または公益法人からの補助金の交付または委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。  
2 「研究者氏名」欄は、一つの研究について研究者が複数いる場合は、主たる研究者の氏名を記入すること。  
3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績 [平成18年4月～平成19年3月まで]

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託先
厚生労働科学研究補助金 難治性疾患克服研究事業 脊柱靭帯骨化症に関する調査研究	中間季雄	リハビリ(整形外科)	800,000	補 委 厚生労働省
厚生労働科学研究補助金 長寿科学総合研究事業 高齢者の運動機能低下評価法と回復運動療法開発研究	中間季雄	リハビリ(整形外科)	2,000,000	補 委 日本整形外科学会より委託研究
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委

計 2

- (注) 1 国、地方公共団体または公益法人からの補助金の交付または委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、一つの研究について研究者が複数いる場合は、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績 [平成18年4月～平成19年3月まで]

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託先
脊柱靱帯骨化症に関する調査研究	星野雄一 (分担研究者)	整形外科	80万円	補 委 厚生労働科学研究費
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委

計 1

- (注) 1 国、地方公共団体または公益法人からの補助金の交付または委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、一つの研究について研究者が複数いる場合は、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

## 1 研究費補助等の実績 [平成18年4月～平成19年3月まで]

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託先
自閉性障害における遺伝子発現プロファイリングによる共通分子機構の解析	桃井 真里子	小児科学	5,600,000	補委 文部科学省科学研究費補助金 基盤研究(B)
新生児・乳幼児における細菌性スーパー抗原による感染症の免疫学的病態解析	高橋 尚人	小児科学	1,100,000	補委 文部科学省科学研究費補助金 基盤研究C
エピジェネティクス機構の解析を中心とした自閉性障害の病因遺伝子解明	山形 崇倫	小児科学	1,200,000	補委 文部科学省科学研究費補助金 基盤研究C
自閉症の発症遺伝子と予後に寄与する心理社会的要因に関する研究	塩川 宏郷	小児科学	600,000	補委 文部科学省科学研究費補助金 基盤研究C
自閉症障害における病因遺伝子の同定(7q領域を中心に)	清水 順	小児科学	1,100,000	補委 文部科学省科学研究費補助金 若手研究B
Leigh症候群リンパ球における細胞学的特性の検討	中島 尚未	小児科学	1,500,000	補委 文部科学省科学研究費補助金 若手研究B
発達障害の疾患感受性遺伝子の同定と生物学的指標の解析に関する研究	桃井 真里子	小児科学	3,000,000	補委 文部科学省 大学院整備重点化経費一研究科 特別経費
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委

計 7

- (注) 1 国、地方公共団体または公益法人からの補助金の交付または委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、一つの研究について研究者が複数いる場合は、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績 [平成18年4月～平成19年3月まで]

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託先
食道癌根治手術後におけるHRVの解析	布宮 伸, 和田政彦	集中治療医学部門	80万円	補 厚生労働省
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委

計 1

(注) 1 国、地方公共団体または公益法人からの補助金の交付または委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。  
2 「研究者氏名」欄は、一つの研究について研究者が複数いる場合は、主たる研究者の氏名を記入すること。  
3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績 [平成18年4月～平成19年3月まで]

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託先
小児難治性固形腫瘍に対する抗癌剤封入生分解性ナノスフィアの開発と抗腫瘍効果の研究	横森欣司	小児外科	90万円	○補 委 文部科学省研究費
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委
				補 委

計1

- (注) 1 国、地方公共団体または公益法人からの補助金の交付または委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。  
2 「研究者氏名」欄は、一つの研究について研究者が複数いる場合は、主たる研究者の氏名を記入すること。  
3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。